

組回覧

【令和6年12月27日】



日野町青少年育成町民会議報 第62号 (令和7年1月)
 発行者 日野町青少年育成町民会議
 会長 安藤 宜保
 (日野町教育委員会事務局 生涯学習課内)
 〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
 ☎ 0748-52-6566
 ✉ kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp

「令和6年度 日野町青少年意見発表大会」を開催しました



令和6年11月24日(日)、町民会館わたむきホール虹大ホールにおいて、「日野町青少年意見発表大会」を開催しました。

当日は、町内小学生から青年まで総勢11名の方が、300名を超える観覧者の前で自らの思いを伝えました。

また、観覧者の方に一番印象に残った発表をアンケートに記入いただき、最も多かった発表者を「オーディエンス賞」とする取り組みを始めました。今年のオーディエンス賞の発表全文を裏面に掲載していますので、ぜひご覧ください。

意見発表大会 発表者・司会者一覧 (発表順)

朝日 泉光(あさひいずみ)さん	日野小学校6年	「ぼくと滋賀県の環境について」
秋元 駿佑(あきもとしゅんすけ)さん	桜谷小学校6年	「150周年を迎えた桜谷小学校で学んだこと」
中川 千晴(なかがわちはる)さん	西大路小学校6年	「大切な友だち」
田中 絆菜(たなかはんな)さん	南比都佐小学校6年	「動物は命あるもの」
西村 優彩(にしむらゆうひ)さん	必佐小学校6年	「私の夢はDリーガー」
小西 颯祐(こにしそうすけ)さん	日野中学校1年	「あいさつで笑顔を」
橋本 穂香(はしもとほのか)さん	日野中学校2年	「身近にある人権侵害」
福岡 玲(ふくおかれい)さん	日野中学校3年	「心配のときに使う『大丈夫ですか。』」
市田 紗菜(いちださな)さん	日野高等学校1年	「私の高校生活」
堀井 友貴(ほりいゆうき)さん	日野高等学校3年	「十年間の軌跡」
服部 陽南(はっとりひなた)さん	日野町連合青年会	「私の最高到達点」
山本 武虎(やまもとたけとら)さん	日野高等学校1年生徒会執行部	司会者
高井 快二(たかいかいじ)さん		

顕彰者表彰 地域や現場等で積極的な活動を行い、その業績が顕著な青少年団体、個人、リーダー等を顕彰し表彰します。

日野中学校生徒会のみなさん(代表出席:中森心仁さん、片山陽樹さん) 表彰の対象:青少年

日野中学校生徒会は、あいさつ運動や環境美化活動を積極的に行うことにより校内の明るい雰囲気づくりに努められました。

このような青少年の模範となる顕著な行動に対し表彰しました。



〇他にも、日野町で進めている「ポジティブ行動支援」について、教育・保育現場から活動報告をしていただきました。

【活動報告者:日野小学校 飯村 亘 主幹教諭、保育所あおぞら園 位田 慎也 主任保育士】

意見発表大会を終えて 日野町青少年育成町民会議 会長 安藤 宜保



青少年意見発表大会では、町内の小、中学校、県立日野高等学校、連合青年会の代表11名が発表されました。小学生から青年までの様々な意見、考え方に触れていただき、感心し、感動し、それだけで終わるのではなく、その後の、大人の捉え方の変化、地域の青少年をとりまく縦や横の連携・変化、アクションを期待しています。共に歩み、育てようとする大人達の変化、これが日野町の未来を変えるといっても過言ではありません。子どもが変われば未来が変わるのです。

皆様方には、この声、思いに耳を傾け、一体となって、より一層の青少年に対する理解が深まり、今後それぞれの家庭や地域でのかかわり、協働の一助につながっていくことが、何よりの機会であると思っております。

最後に、今後とも、皆様と共に、地域に根差した青少年育成活動を、変わりゆく時代とともに変化させつつ、大事なところは押しえつつ進めてまいりますので、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



フレンドマート日野店において街頭啓発活動を実施しました

例年、11月の「子ども・若者育成支援推進強調月間」に合わせて啓発活動を行っています。

期間中はフレンドマート日野店さんのご協力を得て、店舗内に啓発品とのぼり旗を設置させていただき、青少年健全育成の啓発活動を実施しました。

11月15日(金)には、構成団体の皆さまや東近江警察署、日野高校生の方々と一緒に啓発グッズを配布する、街頭啓発活動を実施しました。

地域の方々が子どもを見守る、温かい町にしていきたいと思います。

オーディエンス賞

「創立 150 周年を迎えた
桜谷小学校で学んだこと」

桜谷小学校 6年 秋元駿佑(あきもとしゅんすけ)さん



僕が学ぶ桜谷小学校は、明治7年に創立し、今年で150周年を迎えました。150年という長い歴史の中で、79年前には戦争もありました。50年前には200名を超えた児童数も、今では78名です。

以前に比べれば、少人数ですが、僕達は1年生から6年生まで、みんなの名前を覚えていて、仲良く学校生活を送っています。

そんな今年、僕には忘れられない思い出となった出来事がありました。それは運動会です。僕たちの学校の運動会は、全校児童が、赤・黄・青の3色に分かれて競い合います。

僕は、これまでの上級生がリーダーとして、下級生に最後までやさしく、ていねいに教えてくれた事がはげみとなって、僕も先輩達のようなリーダーになりたいという強い思いで運動会にのぞみました。

応援合戦の練習では、これまでにないものにしたいと、アイデア作りには特に苦心しました。今年の6年生は全員で11名。しかも、ぼくの青組に6年生は3名しかいません。最初は、自分の思いがなかなか形にならず、くじけそうになりました。赤組と黄組の進み具合を耳にしたり、着々と仕上げていくのを目にしたりするたびに焦りました。限られた時間で組をまとめているのかと心配にもなりました。

練習を始めても話を聞かず走り回る人、集合時間に遅れる人、集合しない人など様々でした。そこで、ぼくは、いろいろ悩んだ末、話を聞いてくれない人には1対1で話をすることに努めました。すると、少しずつですが話を聞いてくれるようになりました。集合時間に遅れる人、集合しない人には、たくさん練習の機会を設け、他の組以上に練習することにしました。

すると意識の薄かった下級生にも「他の色に勝とう」、「優勝しよう」という気持ちが芽生え、次第に組はまとまり、1つとなってきました。応援合戦以外の組対抗リレーや綱引きなどの練習の時もみんな真剣に話を聞いてくれるようになりました。その結果、これまで練習で一度も勝ったことのなかった綱引きでも他の組と互角に戦えるようになり、本番でもその成果を発揮することができました。

そして、運動会当日。閉会式の結果発表で「応援合戦の部、優勝は青組」という声



を聞いた時、僕は、思わずこぶしを突き上げ、そして、空を見上げた目から涙がこぼれてきました。

さらに、運動会が終わった後に思いがけないことがありました。それは、青組のみんなからのメッセージカードです。青組全員からのたくさんの「ありがとう」の言葉が寄せ書きされていました。これまでの様々な思いが一瞬で解け、「がんばってよかった。みんなありがとう。」という気持ちになりました。桜谷小学校での6年間、学べてよかったと思う出来事でした。

運動会のほかにも、仲間と楽しめる場所がたくさんあります。

自慢の裏山には、地域の皆さんからのたくさんの寄付で作っていただいた立派な滑り台やアスレチックがあり、いろいろな遊びができます。「ふれあいの池」というピオトープもあっていつもいきものとふれあうことができます。

さらに、運動会だけでなく、1年を通して様々な活動があります。

春には、学校横の田んぼで、田植え。畑で芋植え。秋に稲刈りや芋掘り。冬には、しいたけの菌打ち、餅つき大会、昔遊びなど楽しい体験活動がたくさんあります。それらは、ほっとけん桜谷隊さんや地域の方々に教えていただきながらやっています。

また、地域の方には、僕たちが気持ちよく遊んだり、運動したりできるように運動場やうら山を整備してくださっています。運動会前には地域を挙げて草抜きや裏山の草刈りや整備などをしてくださるおかげで僕たちはいつも楽しく安全に学校生活を送れています。

ふりかえれば、心から良かったと思える運動会となったのは、僕だけの力ではありません。応援合戦の内容を決めるときに

困っていた僕を、クラスの友達や先生がアドバイスしてくれました。両親は、僕の話聞いて余裕と笑顔を与えてくれました。

地域の人は暑い中、運動場の草むしりをして、環境を整えてくださいました。

僕は、バスケットボールを習っているのですが、そこでも同じです。疲れているときやミスをして落ち込んでいるときにはげましてくれる親やチームのみんな。生きていく上での人間性を教えていただいているコーチの方々。

厳しい練習やきつい試合の後に桜谷小学校のクラスメイトと話すと、安心して余裕ができます。話すだけで安心するのは、やはり普段から一緒に勉強したり、遊んだりしている仲だからだと思います。ぼくは、このような支えがあり、今があると思っています。

桜谷小学校は、児童数は少なくても、かけがえのない友達と友情を作ることができる場所です。

僕はこの桜谷小学校、そして桜谷が大好きです。僕はもうすぐ、この学校を巣立ちますが、卒業しても、「好きです、桜谷」と自信を持って言いたいです。



大人が変われば 子どもは変わる
子どもが変われば 未来が変わる
～あいさつ・声かけでつなぎ育む温かい町 日野町～